

富山県在宅医療 支援センター 講演会

「在宅医療の今後の方向性」(0CC/1.0単位)
産業医科大学医学部公衆衛生学教室教授
松田 晋哉 先生

国の推計では日本の多くの地域で2040年以降に在宅医療のピークが来るとされている。

そのための診療報酬上の誘導も行われているが、在宅医療の提供量を増やすことができるか否かは、当該地域の医療資源、介護資源の状況による。

在宅医療を慢性期を支える医療形態の一つと考え、病床、施設介護、在宅の適切な配分を考えることが適切な対策である。また、在宅医療を増やすためには、訪問介護体制の充実も必要となる。講演ではその考え方を説明したい。

開催要項

日時：11月25日(月)19:30～20:30

会場：富山県医師会館＋Web

受講対象：医師及び在宅医療に
関わる多職種

下記QRコードを「スキャン」or「クリック」してお申込みください。

[主催]富山県在宅医療支援センター(富山県医師会)・富山県

[所在地]〒939-8214 富山市黒崎33(富山県医師会館内)

[連絡先] TEL：076-464-3221/FAX：076-464-3225

E-mail：zaitaku@toyama.med.or.jp

